

大江山地域の公共施設の現状

第1回ワークショップ (WS) では、市が示した大江山地域の公共施設の概要をもとに、各施設の今後も大切にしたいサービス機能や、課題、解決策 (アイデア) を話し合いました。みなさんのご意見やアイデアをお寄せください。みなさんからいただいたご意見は、次回2月のWSの検討内容に反映させます。

みなさんのアイデアお待ちしております!

- 大淵荘**
 - 60歳以上の高齢者の健康保持と福祉増進のための施設。入浴やクラブ活動に利用
 - 指定管理者による管理運営施設
 - 老朽化に伴う修繕費増加などが課題
- 大淵小学校**
- 大淵ひまわりクラブ**
- 老人憩の家大淵荘**
- 大江山公民館**
- 大江山農村環境改善センター**
- 大江山地区図書室**
- 蔵岡集会所**
- 大江山中学校**
- 丸山小学校**
- 丸山ひまわりクラブ**
- 丸山集会所**
- 大江山保育園**
- 老人憩の家大江山荘**
 - 60歳以上の高齢者の健康保持と福祉増進のための施設。入浴やクラブ活動に利用
 - 指定管理者による管理運営施設
 - 老朽化に伴う修繕費増加などが課題
- 大江山農村環境改善センター**
 - 各種教室やクラブ活動、地域活動などに利用
 - 指定管理者による管理運営施設
 - 公民館機能を併せ持つ複合施設
 - 使用料は原則無料

ご意見・お問い合わせはこちらまで

大江山地域実行計画コミュニケーション事務局

- 電話 025-382-4619
- 郵便 〒950-0195 江南区役所地域総務課あて (住所不要)
- FAX 025-381-7090
- 電子申請 「かんたん申込み」 サイト (右の二次元コード)



新潟市 財産経営NEWS 広報紙 第2号

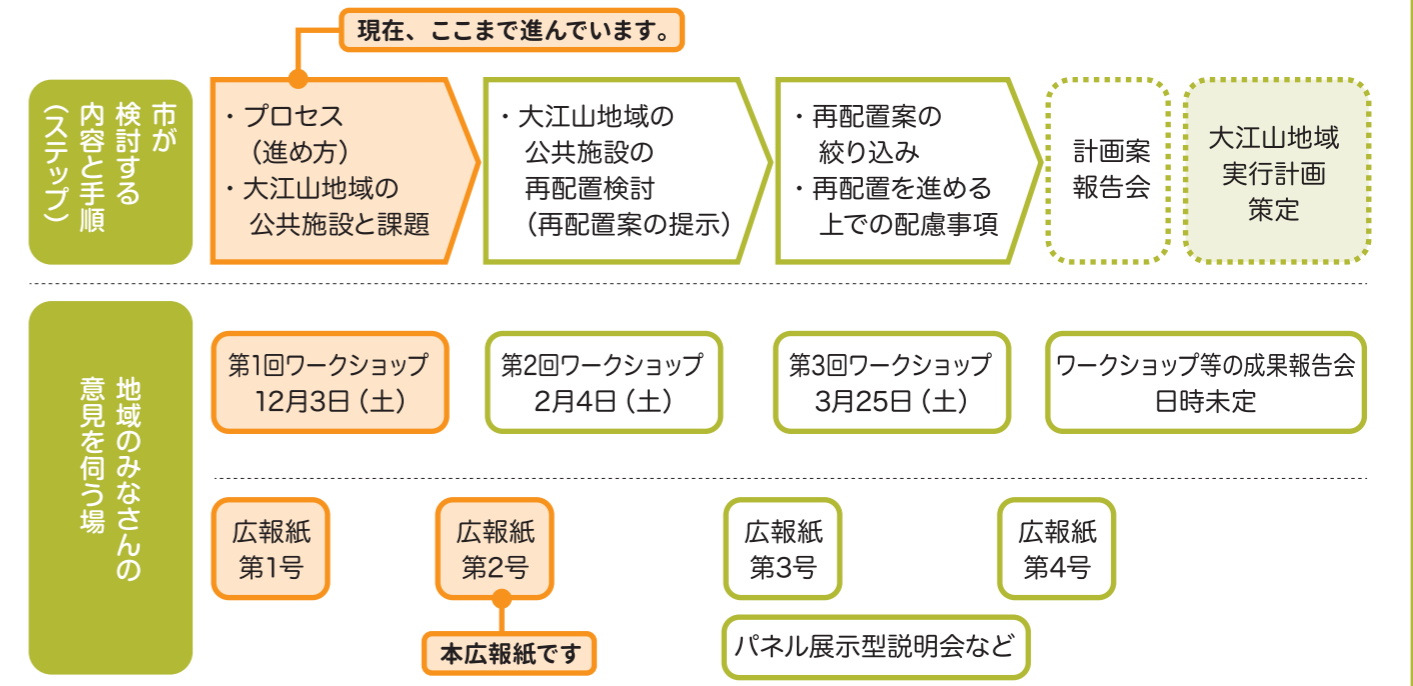
一緒に考えませんか? 公共施設のこれからを / 大江山地域のまちづくり

[発行者] 大江山地域実行計画コミュニケーション事務局 令和5年1月発行
江南区地域総務課 ☎025-382-4619 財務部財産活用課 ☎025-226-2387

少子・超高齢化社会などに対応し、将来世代に過度な負担を強いることのないよう、市有財産の効率的な管理・利活用を図っていくために策定した「財産経営推進計画」に基づき、地域の身近な公共施設については、地域のみなさんと市が協働で、そのあり方について検討しています。

大江山地域の公共施設のあり方について検討を開始しました!

大江山地域では、地域の活動拠点である大江山農村環境改善センターが大規模改修の目安である築40年を超えていることなどから、大江山地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいのみなさんと新潟市が共に考えるワークショップ (WS) を令和4年12月に開始しました。



WSだけでなく、広報紙やパネル展示型説明会 (オープンハウス) など、地域のみなさんのご意見を伺う様々な機会を設けていきます。市は、いただいたご意見をもとに、地域の公共施設の将来のあり方を示す「大江山地域実行計画」を策定します。

江南区親善大使 「**姫ちゃん**」
大江山地区出身 越後姫のキャラクター



第1回ワークショップでは活発な話し合いが行われました。詳細は次ページからご覧ください。



第1回WSの様子 大江山農村環境改善センターにて

- WSの概要
- 第1回 2022年12月3日 (土) 9:00~12:00
- 会場 大江山農村環境改善センター
- 参加者数 31名
- 資料 当日の資料は市ホームページ (右の二次元コード) に掲載しています。



第1回ワークショップで出された意見（抜粋）

1.こんな大江山になったらいいな（まちづくりの方向性について）

- 阿賀野川や緑豊かな自然を、幅広い世代が交流と遊びと癒しの空間として活用するまち。
- 先人から受け継いだ歴史や伝統を、生かしながら楽しむまち。
- 多世代交流でき、誰もが生涯現役で生き生きと楽しく安心して住み続けられるまち。
- 人々が笑顔でお互いを思いやり、声をかけあうまち。
- 若者や子育て世帯にとって安心して生活しやすく、若者や子どもが増えて活気あるまち。
- 豊かな自然と、流通、産業の拠点を併せ持ち、今後の発展が期待できる全国に誇れるまち。
- 新旧の住民が活発に交流・コミュニケーションのできるまち。

2.大江山地域の公共施設の現状・課題・解決策（アイデア）

大江山農村環境改善センター

- 多様な用途（スポーツや文化などの活動）に対応できる施設を備えており、利用しやすい。幅広い年代の趣味や地域活動を支える地域にとって必要なインフラだと思う。
- 大ホールはスポーツ、講演会などいろいろな使い方をしているので、この地域では絶対必要である。
- 大江山地域の中心にあり、利便性が良く、人が集まりやすい。多様な年代の利用者がいるので世代交流につながる。大人数が集まれるこの規模の施設は必要だ。
- 広い駐車場があり、高齢者も利用しやすい。
- 高齢者にとっては、車を使わないと来づらいことがちょっと不便だ。
- 駐車場の白線が分かりづらく、端のスペースは狭い印象があった。メイン駐車場は施設の裏側になるが、もっと駐車場がほしい。
- 災害時は避難所運営の拠点として、大ホールは避難所、調理室は炊き出しにも利用できると思う。新しい施設をつくるなら、大江山は水害に弱い地域なので、3階建て以上の堅牢な避難所機能を強化することを考えた方がよい。
- 雨漏りなど老朽化しつつあるが、地域内唯一の多機能施設であり、手を入れながら機能アップして長く使っていきたい。または建て替えたい。
- 地元の利用者が減っているので、PRに力を入れて利用者を増やしたい。
- 公民館や図書室があることを知らない人や、利用方法が分からない人も多い。各部屋が有効に使われているのか利用率も気になる。
- 他地区の施設が有料化されていることから、センターも低額の有料化はやむを得ないと感じている。利用者のうち地域内の人は無料、地域外の方は有料にするなど地域内利用者を優先することで、利用が集中しなくなるのではないかな。
- 既存の利用団体が優先され、若い人が借りられないという声もあることから、全ての利用者が、よりスムーズで公平に利用申請や予約ができるルールを検討する必要があるのではないかな。また、申請書をセンターに来て書く手間を省き、インターネットから申請や予約状況が確認できるようにしたり、新潟市の公民館の予約基準に合わせたりするのもいいだろう。

- 利用者団体の代表者会議を年に数回行ってはどうか。施設の利用方法を知らない新規利用者と情報交換できる場があると、利用の困りごとを解決できてよい。
- 足の不自由な方や高齢者など、階段の昇降が困難な人が安全に安心して2階へ行けるように、エレベーターや車いす用昇降機を設置してほしい。
- 建て替えるのであれば平屋がよい。また、段差や部屋・トイレなどの広さなど、バリアフリー化等の安全な方法を検討するとよい。
- センターの機能を検討し直し、スポーツをした後に汗を流すことや、災害時の避難所としての利用も想定し、シャワーや風呂があったらいいと思う。
- 健康のために歩くスペースを作してほしい。
- 「農村環境改善センター」という施設名が、農村の人しか使えないのかと思ってしまうので変えた方がよい。 ホール、研修室、風呂などを集約し、多世代が活動できて交流できる、魅力的な地域の核となる複合施設が必要だと思う。また、そのために交通の便の確保が必要。
- 民間主導の管理運営を検討し、経費の削減をしながらサービス向上を目指してはどうか。
- 祭り文化、生きがい、健康づくり活動などをサポートする公民館の機能を備えるとよい。若い人が気軽に使える場所や、高齢者向けの健康相談などできる出張診療所の開設、若い人が興味を持てるダンス教室の開催、演歌歌手のチャリティーコンサートなど、収益化も図り、活気ある施設にしたい。
- 子どもたちや幼児が気軽に集まれる居場所を設けるなど、子育て支援の場がほしい。

大江山地区図書室

- 地区の中心にあり利便性がよいので利用者はいるが、ここに図書室があることが分からない人も多く、特定の人しか使っていないと感じる。
- 地域の書類（資料）を保管する役目も担っている。
- 蔵書が少なく新刊がないので、利用者が少ない。蔵書を増やして充実させて図書室を残してほしい。
- 予約した本が届くのが遅くて利用しづらい。
- 亀田図書館のように、探している本が見つかるまで丁寧に対応して、貸し出しもスムーズにしてほしい。

- インターネットで予約した図書を受け取り、返却する機能に特化して残してはどうか。市内の図書館と連携した貸し出しができればよい。
- センターの中では場所が分かりにくいので、もっと分かりやすい別の場所にするとよい。
- 高齢になって運転できなくなったときに、公共交通の便の良い身近な場所で、ネット予約した図書を受け取り、返却できるとよい。
- 子どもたちが勉強できる自習室や、若い人が気軽に使える場所として活用してもよいのではないかな。図書室は夏休みや冬場の居場所として、地区の中にないと困る。流行りの書籍を入れ、広報して利用者が増えれば、若い人も足を運ぶかもしれない。
- 図書室の利用が増えれば廃止されることもないだろう。小学校の個人タブレットで図書室の貸し出し利用をできるようにするなど利用率の向上と活性化を図るとよい。

老人憩の家大淵荘

- 高齢者が歩いて行ける交流の場であり、人との会話やお風呂を楽しむことが生きがいになっているので残してほしい。
- 包括センターが来るときにお世話になっている。
- カラオケができるところは大事なので、カラオケ機能は残してほしい。
- 自動車で来る利用者の交通マナーが問題になったことがあったようだ。

老人憩の家大江山荘

- コロナ禍でも風呂の利用者数は維持しているようだ。高齢者が行きやすく、活用しやすいので何とか残してほしい。

老人憩の家共通

- 高齢者の憩いの場になっているので、地域の中にあってほしい。憩の家が無くなったならこれまでの利用者はどこへ行くのか気がかりだ。会話が出来る場所であると考えないと存在意義はある。
- 風呂が利用できるところが高齢者にとってはありがたい。施設を残し、ふれあいの場とするとよい。
- 風呂の大きさやボイラーを小型にして経費削減を検討してはどうか。
- 風呂は廃止して、人々が集う憩いの場として使うのはどうか。
- 利用者が限られ、常連の輪に入りにくい。一人で来た人も仲間に入りやすい運営体制を検討する必要がある。
- 利用者は特定の人だけが利用し、固定化している。利用者同士のトラブルがあったという声も聞かれる。
- コロナ禍で飲食や利用時間が制限されている影響もあり、利用者が減っているが、老人クラブが利用者を増やそうと頑張っている。

3.検討の進め方・ワークショップ全体について

- 公共施設の再編案を検討するにあたり、各施設の利用状況や利用者の声など、詳しい情報が知りたい。
- 利用したことがない、利用状況が分からないので意見が言いづらい。

- この先、地域の高齢者は増加傾向で、身体機能の低下を防ぐダンスなどのサークル活動ができる場所なので、施設の老朽化は気になるが、補修しながら残す努力をしてほしい。
- 利用者や利用サークルが減っており、現状では費用対効果が低い。維持するには新たな利用者の確保が必要である。広報などで入浴機能のほかにサークル活動もできる場であることなど、周知するとよいのではないかな。
- 名称を変更するなど、利用できる年齢層を広げ、新しい企画で利用者を増やす工夫をしてはどうか。温泉やサウナを整備する、風呂は無料にする、孫と一緒に入れる、餅つきなどのイベントをする、作品を飾ってアトリエのようにするなどイメージアップに力を入れる。
- 自販機の設置や小規模の産直販売などの収益事業を行ったりする。
- 空きスペースに子育て支援拠点の機能を追加し、世代交流も図るようにするとよい。
- 公共交通の便が悪く、駐車場もほとんどないので徒歩圏外の高齢者は通うのが大変だ。地域のことを知る人は周辺の敷地に止めるなどしているようだ。
- 災害時の避難所としての利活用を検討してはどうか。とりあえず駆け込める拠点になる。2階建てにして、2階を避難所スペースにできるのではないかな。

- 再編計画で廃止になりそうで気になっている。やむなく廃止するのであればほかの公共施設に新設してはどうか。
- 憩の家の建物はまだ使えるので、自治会館等の機能を入れるのはどうか。

- 廃止するメリットとデメリットを比較したデータをもとに検討したいので、利用者数や、利用者数が減った理由、利用者の声など、利用状況を詳しく知りたい。

丸山小学校

- 学校の中で地域の茶の間をしていた。コロナが落ち着いたら再開してほしい。

丸山・大淵小学校共通

- 小学校の児童数が増え続けている。将来、空き教室がない可能性もあるので、地域の利用は慎重に検討する必要がある。

ひまわりクラブ共通

- 働く親にとって必要な施設だと思う。子どもが増えていることから今後も利用が増えると考えられるので、安心安全に利用できるように、小学校の敷地内にあることが大切だ。
- 丸山、大淵の各ひまわりクラブは利用者が多く、1人当りの面積が狭いので広くしてほしい。小学校の敷地活用や、民有地の借り上げも検討してはどうか。新しくする場合は利用児童数を考慮した広さにするとよい。
- ひまわりクラブの面積が狭いことは市内各地で聞かれるため、市全体で検討する場を設けるほうがいい。

- 市はもう少し計画的に施設整備を行うべきで、今検討するのは遅すぎるのではないかな。
- 資料は専門用語でなく分かりやすい言葉にして、文字を大きくしてほしい。